

高野豆腐の含め煮



石川由美子さん(上花輪)

①高野豆腐をたっぷりの水で戻し、軽く絞り水気を切る②ボールにひき肉、タマネギのみじん切り、塩・コショウ、しょうゆ、ショウガの絞り汁、タマゴを入れ、よくかき混ぜる③①を3等分に切り、切れ目を入れ、②を詰める④鍋でだし汁・しょうゆ・酒・みりんと砂糖・塩を入れて煮立て、③の切り口が上になるように並べ、落とし蓋と鍋の蓋をして中火で約13分間煮て、火を止めてそのまま冷やし、味を染み込ませて完成。
 ※詰める具材は多めの分量で作って、肉団子にして一緒に煮ると子どもたちにも大人気です。
 《材料》4人分：高野豆腐3個、だし汁500cc、砂糖・しょうゆ大さじ2、酒大さじ1、みりん少々、塩少々
 詰める具材(鶏ひき肉120g、タマネギ50g、塩・コショウ・しょうゆ・ショウガの絞り汁・タマゴ少々)

なつかしの写真館



写真提供=林賢一氏(小山)

青年の力が集結した大演芸大会

写真は、昭和31(1956)年11月に、川間小学校小山分校舎(現在の自治会館)前で、行われた演芸大会の様子です。
 当時、小山地区にまつりが無かったため、若い人の力で地域を盛り上げようと、青年団長だった写真提供者の林さんが発起人となり、演芸大会を開催しました。
 「練習は、毎日仕事が終わった19時から21時まで1か月以上続け、舞台は、男性が丸太を組み、女性は花飾りを作り、全員で2日間かけて仕上げました」と話す林さん。
 「当日は、青年団44人が、民謡や歌謡曲などを、オルガンの音で歌ったり、レコードの曲に合わせて踊る新舞踊を披露して、小山地区の200人を超える人に楽しんでもらえました」



学校訪問(22) 七光台小学校

七光台小学校は、昭和60年(1985)年4月に、北部小学校と岩木小学校、川間小学校の学区の一部を分離して誕生しました。現在の児童数は、532人ですが、周辺地区の人口増加によって、年々児童数が増えています。
 同校は、「地域とともに歩む学校」をめざして、積極的に地元との交流を深めています。
地域の方も講師に
 平成18年度から取り組んでいる学校総合学習「かがやき」で



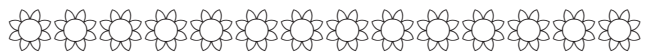
練習に児童の意見も取り入れて

ちが一緒になって、野球やソフトテニスなどで汗を流したり、水彩画の描き方などを学んだりしています。
 専門的に指導していただけるので、卒業まで同じ種目を選択する児童が多いことから、同校は、地域の方々や在校生・卒業生の保護者にご協力いただき、3年生から6年生の児童たちが



昼休みには図書室で

では、スムーズに中学校の部活動に参加できるよう、北部中学校との部活動交流も計画中です。
 ほかに、同校では、低学年から本に親しんでもらおうと、ボランティアによる「にじいろ本の会」が、朝読書の時間や昼休みに、絵本の読み聞かせなどを行っており、児童たちは毎回心待ちにしています。



会場には選手の歓声や笑い声が

ホールインワンなど好プレーが続出
 日ごろの練習の成果を競い合おうと、9月7日、関宿総合公園でグラウンド・ゴルフの市内大会が行われ、初出場の選手から84歳の大ベテランまで、17人が参加した。
 「1試合で2千歩は歩くので健康に良いし、仲間と一緒に楽しめて最高」とさわやかな汗をかく選手たち。天候にも恵まれ、ホールインワンなど、すばらしいプレーが各ホールで見られた。